

# NEWS RELEASE

2021年12月23日  
DBJ証券株式会社

## 京葉ガス(株)に対し、 グリーンボンド(私募債)の発行を支援 -再生可能エネルギーの開発を進める取り組みを支援-

DBJ証券株式会社(以下「DBJ証券」という。)は、私募の取扱い者として京葉ガス株式会社(本社:千葉県市川市、代表取締役社長:羽生弘、以下「当社」という。)に対し、当社が発行するグリーンボンド(私募債)(注1、以下「本私募債」という。)の発行を支援しました。なお、本私募債は株式会社日本政策投資銀行(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:渡辺一、以下「DBJ」という。)が取得します。

当社は、千葉県北西部の市川市・船橋市・松戸市等10市を供給区域とし、約100万戸の需要家に対するエネルギーの安定供給を担う都市ガス事業者です。当社は、2021年11月30日に公表した「長期経営ビジョン2030・中期経営計画2022-2024」において、「低炭素・脱炭素社会への貢献」を重点戦略の一つに掲げ、太陽光発電設備やバイオマス発電設備などの再生可能エネルギー電源の開発・調達を進めています。

「グリーンボンド」とは、気候変動・水・生物多様性対策など、環境に好影響を及ぼす事業活動に資金用途を限定した債券のことを指します。これは、企業や地方自治体等が発行する債券であって、調達資金の用途がグリーンプロジェクトに限定され、調達資金が確実に追跡管理され、発行後のレポートイングを通じ透明性が確保された債券のことです。

今般当社は、木質バイオマス発電設備(北海道北斗市)及び太陽光発電設備(島根県出雲市他計4カ所)を取得するに際し、当社初の試みとなるグリーンボンド(私募債)を発行しました。当社の発行する本私募債は、株式会社日本格付研究所によるグリーンボンド評価において最高評価であるGreen1を付与されています。

当社は、引き続き幅広い再生可能エネルギー電源の開発・調達を推進し、低炭素・脱炭素社会の実現に貢献していく予定です。

DBJ証券は、DBJグループの一員として、企業理念「金融力で未来をデザインします～金融フロンティアの弛まぬ開拓を通じて、お客様及び社会の課題を解決し日本と世界の持続的発展を実現します～」に基づき、カーボンニュートラルに向けたお客様の取り組みを積極的に支援してまいります。

(注1)「グリーンボンド」とは、グリーンファイナンス(注2)の一つであり、太陽光発電所整備等の適格性が評価されたグリーンプロジェクト(「適格グリーンプロジェクト(注3)」)に資金用途を限定して発行する債券です。

(注2)「グリーンファイナンス」とは、適格グリーンプロジェクトに資金用途を限定してフ

ファイナンスを実施するもので、ボンドやローン等が含まれます。

(注3)「適格グリーンプロジェクト」とは、発行体が事前に設定する適格クライテリアに該当するプロジェクトのうち、適切な社内決定プロセスに基づき承認された事業を指します。当社においては適格クライテリアを「再生可能エネルギーに関する事業」と設定しています。

**【お問い合わせ先】**

DBJ証券株式会社 引受部 電話番号 03 3275 5310